

リクシルの + 防犯 プラス リフォーム

くらしと家族をリフォームで守る時代。
LIXIL のあんしんリフォーム

最新の 強盗手口と防犯対策

令和は平成と違い、手口が凶悪化しており、
昔の対策も常識も通じないことも多いです。
有効な対策を行うためには、まずは「相手を知る」ことが重要です

防犯対策専門家全体監修！

防犯対策の
新常識について
はこちら！



防犯対策専門家
京師 美香氏



素人による 「強引な侵入」が急増中！

進化した組織の意外な手口とは…？

従来の強盗は「犯罪のプロ」によって行われるものが多く、留守を狙って静かに侵入し、短時間で去る、というのが主流でした。しかし近年は「闇バイト」と呼ばれる、主犯が素人に対して、強引な侵入や在宅時を狙った侵入を指示するなど手口も多様化。都市部だけでなく地方の住宅も標的になっており、防犯対策の必要性が高まっています。



侵入に「5 分以上」かかると 約 7 割の強盗が諦める？！

防犯対策の基本原則、重要なのは…？

防犯対策の基本原則である「光・音・時間・人の目」。センサーライトやアラームが備えられた住まいは、人目に付きやすく侵入者に狙われにくい。一方で、これらの対策だけでは「下見」で見破られてしまう可能性も。最も効果的なのは「侵入にかかる時間を引き延ばすこと。」警察庁のデータによれば、侵入に 5 分以上かかれば約 7 割、10 分で約 9 割が諦めるともいわれています※。窓やガラス面、玄関や勝手口など、開口部の対策を万全にすることが重要です。
※出典：警察庁「住まいる防犯 110 番」



簡易的な対策より、 盤石な対策を。

重要なポイントは…？

住まいの防犯対策として効果的なのは、「本質的な対策」に加えて「掛け合わせ対策」です。世の中にはさまざまな防犯グッズがありますが、強盗の手口は日々進化しています。簡易的な対策だけではなく、物理的に侵入しづらくする対策や、心理的に侵入しづらいと思わせる対策、さらには万が一侵入されたときの対策など、本質的な対策を講じること。さらには複数の対策を掛け合わせることがポイントです。

電動シャッターであんしん防犯・防災対策

シャッターの特長

防犯

防災

◆ 防犯耐風フック

手動

電動



防犯耐風フック

防犯耐風フックを標準装備。
スラットをぬけにくくした構造。

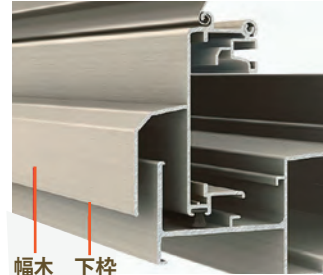
防犯

防災

◆ 幅木こじ開け防止機構

手動

電動



幅木 下枠

全閉時の幅木と下枠の噛み合わせを強化することで
こじ開けにくい。バールなどの工具も入れにくい構造。

LIXIL
だけ

防犯

◆ 幅木ロック

手動

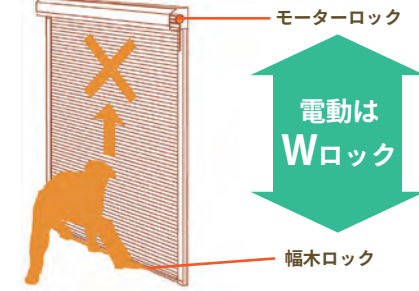
電動※



シャッターを降ろすだけで自動施錠。
手間もかからず、鍵をかけ忘れる心配もありません。
※電動は自動施錠ではなく、操作が必要です。

◆ モーターロック

電動



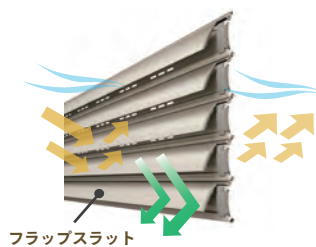
モーターで機械的にロックするため、
手でシャッターを操作することができません。
非常時などは非常開口機構で手動への切替が可能です。

防犯

日中防犯に！

◆ リフォームシャッター 採風タイプ

電動



フラップスラット

採風 × 採光 × 遮蔽

シャッターを閉めたまま、風と光を採り入れられます。
外からの日差し、視線もカットしながら防犯対策も。

防御

スマホ操作で
外出先でもあんしん

◆ lot ホームリンク LifeAssist2



玄関の施錠

シャッターの開閉

スマホのアプリから
遠隔操作・状態把握が可能

部屋の
状態や機器の
使用状況

自宅を離れていても状態を
一目で確認できます

狙われやすい窓や玄関の防犯機能を高める